

News Release

『スマートフォンの使用マナー』をテーマとした作品 5年連続でトップ

『高齢者運転・免許返納』を訴えるポスターも新たに登場！

～ 平成29年度JA共済交通安全ポスターコンクール 全国作品テーマ分析レポート ～

JA共済連が主催する「第46回 全国小・中学生交通安全ポスターコンクール」には、16万4,323点の応募があり、各都道府県から選出された優秀作品342点の審査を行いました。本会では、平成16年度から、全国コンクール審査作品のテーマを集計し、小・中学生が、今、どのような視点から交通安全を捉えているのかを分析しています。

本年度も、社会を鋭く見つめた示唆に富む結果がまとまりましたので、ご報告します。

■ 『スマートフォンの使用マナー』に関する作品が構成比14.6%でトップ(5年連続)

本年度の全国コンクール審査作品を分類すると、『スマートフォンの使用マナー』を訴える作品が5年連続で最多テーマとなりました。ただし、同テーマの全体構成比は、前年度の21.8% (作品数76点) から14.6% (同50点) に減少。また、その訴求対象にも変化が見られ、前年度は、“歩きスマホ禁止”を呼びかける作品が同テーマの3分の2を占めたのに対して、本年度は、「歩行者」が34.0%、「自転車」が12.0%、「自動車」が42.0%、「その他」が12.0%と、“運転中の通話・メール”に注意を促す作品が目立ちました。

前年度は、スマートフォン用ゲームアプリが大人を巻き込み社会現象となった反面、そのマナーが度々、問題となりました。ブームが一段落したことに伴い、“歩きスマホ禁止”をテーマとした作品も減少したと考えられます。



〔中 1 作品〕

■ ドライバーに注意を促す作品が急増。『高齢者ドライバー』をテーマとした作品も登場

『スマートフォンの使用マナー』の全体構成比が前年度より減少した一方、本年度は、様々な角度からドライバーに注意を呼びかける作品が多く寄せられました。小学生低学年では、『シートベルト・チャイルドシートの着用』を描いた作品が構成比6.3% (作品数7点) から14.9% (同17点) に急増。

また、中学生の作品では、ドライバーに『安全運転(おもしろいやり運転)』を訴える作品が、前年度の0.8% (同1点) から8.5% (同10点) に増加したほか、新たに『高齢者ドライバー』をテーマとしたものも登場しました。

近年では、高齢者ドライバーが交通事故の原因となったり、巻き込まれたりするケースが増え、ニュースで取り上げられることも多くなりました。こうした交通安全に関する話題に子どもたちが敏感に反応し、ドライバーに注意を促すポスターが急増したと言えます。



〔中 1 作品〕

◇ スマートフォンの使用マナーを訴える作品〔抜粋〕



〔小 5 作品〕



〔中 1 作品〕

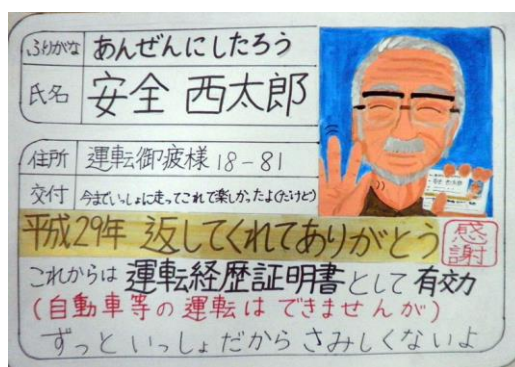


〔中 2 作品〕

◇ ドライバーに注意を促す作品〔抜粋〕



〔小 1 作品〕



〔小 5 作品〕



〔小 6 作品〕

◇ そのほか、視点のユニークな作品



〔小 5 作品〕



〔中 3 作品〕



〔中 3 作品〕

＜交通安全ポスターコンクール 訴求テーマ第1位と社会の動き(過去10年間)＞

交通安全ポスターコンクール分析からは、子どもたちが、その時々交通安全に関する旬のテーマに非常に敏感であることがわかります。子どもたちが指摘する“今、最もホットな交通安全の課題やテーマ”を参考にしながら、交通安全に努める必要があります。

年度	最も多かった訴求テーマ	社会の動き
平成29年度	「スマートフォンの使用マナー」	注目されやすい画像・動画を撮影しSNSに投稿するため、“ながらスマホ”による事故が急増したほか、高齢者ドライバーが関連した交通事故や、“あおり運転”による事件が報道で大きく取り上げられた。
平成28年度	「スマートフォンの使用マナー」	スマートフォン用アプリで人気キャラクターゲームが配信。大人を巻き込んだ社会現象となる反面、そのマナーが度々指摘された。
平成27年度	「スマートフォンの使用マナー」	“ながらスマホ”が社会問題として定着。警察、鉄道各社、携帯電話各社等、様々な企業・団体が啓発活動を展開。
平成26年度	「スマートフォンの使用マナー」	前年度に引き続き、歩きながら、自転車に乗りながら等のスマートフォン、携帯電話等による事故が相次ぐ。東京消防庁は『年々増加傾向にある』とHP上で注意を促す(H26.3)
平成25年度	「スマートフォンの使用マナー」	携帯画面を見ながら歩く、“歩きスマホ”を原因とした交通事故やホーム転落事故が発生し社会問題化。
平成24年度	「安全運転」「思いやり運転」	暴走自動車が行歩行者をはねる事故が多発。京都府亀岡市では乗用車が集団登校中の小学生の列に突っ込み10名が死傷する事故が発生。
平成23年度	「自転車マナー」	違法自転車「ピスト」による事故が急増。警察庁が「自転車総合対策」を発表(H23.10)
平成22年度	「携帯電話の使用マナー」	スマートフォンがヒット商品に。「運転中の携帯電話使用」の摘発件数が増加。
平成21年度	「自転車マナー」	健康志向・エコを背景とした自転車人気と自転車と歩行者の接触事故増加。
平成20年度	「後部座席のシートベルト着用」	後部座席シートベルト着用の義務化(H20.6 施行)

【詳細データ】平成29年度(第46回)交通安全ポスターテーマ集計表

テーマ	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計	%
スマートフォンの使用マナー	0	1	2	1	6	6	13	11	10	50	14.6%
信号守ろう	8	3	1	2	1	2	2	4	7	30	8.8%
シートベルト・チャイルドシート着用	4	7	6	0	3	5	0	3	0	28	8.2%
安全運転(おもしろ運転)	0	2	1	5	4	4	3	3	4	26	7.6%
ヘルメット着用	1	6	6	2	2	2	3	2	0	24	7.0%
手を挙げて渡ろう	7	10	0	2	0	1	1	0	1	22	6.4%
反射板・目立つ服の着用	1	0	1	3	1	8	2	1	2	19	5.6%
交通ルールを守ろう	3	0	7	3	1	2	2	0	1	19	5.6%
よく見て渡ろう	7	3	5	3	0	0	0	0	0	18	5.3%
飲酒運転禁止	0	0	0	3	2	3	2	2	4	16	4.7%
飛び出し禁止	3	1	0	3	0	1	2	1	0	11	3.2%
無灯火危険・早めのライト点灯	0	1	1	3	2	0	0	2	1	10	2.9%
雨の日(雪の日)は気を付けて	2	2	2	1	1	1	0	0	0	9	2.6%
高齢者運転・免許返納	0	0	1	1	1	0	3	0	2	8	2.3%
交差点・曲がり角に注意	0	0	0	0	0	1	4	1	0	6	1.8%
傘さし運転禁止	0	0	0	0	2	0	0	3	1	6	1.8%
一時停止を守ろう	0	0	0	1	1	0	0	2	0	4	1.2%
一列で歩こう(走ろう)	1	0	0	1	0	0	0	2	0	4	1.2%
走行(歩行)中のイヤホン禁止	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3	0.9%
自転車も車両	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0.6%
その他	1	1	6	4	4	2	2	2	5	27	7.9%
合計	38	37	39	38	34	39	39	40	38	342	100.0%

※構成比につきましては、表示単位未満を四捨五入して表示しています。